

千二百年前、
空海は天野で
神様と出会う。



Shef meets Goddess



目の前に広がるのどかで美しい日本の原風景。そして優しく穏やかな里の人たち。神の籠もるこの天野の地に2013年4月、ゲストハウス「山荘 天の里」がオープンした。宿泊棟は3棟のコテージで構成され、紀州材をふんだんに用いた上質な空間が広がる。「料理人にとってこんな素晴らしい環境はありません。自問自答しながら、天野の食材で天野でしか食べられない料理を作る、理想は料理の神仏習合です。」と今西康成料理長は楽しみに語る。和食も経験したフレンチのシェフが奏でるランチは人気が高く、平日でも予約した方が安心。

山荘 天の里
住所 / 伊都郡かつらぎ町下天野1620
電話 / 0736-26-0753
<http://www.amanosato.com>
※ランチのみの利用も可能 / 11:00~13:30 (LO) / 月・木のみランチは休み

料理で奏でる神仏習合。
天野と世界の食材がコラボする

黄金色に輝く秋の天野の里。高原盆地で昼夜の温度差が大きく、水も土も稲作に適しているため、天野の米は美味しいと人気が高い。

丹生都比売神社境内入口にある太鼓橋は淀君の寄進と伝わる。その姿は美しく舞楽曼茶羅供の装束にも描かれている。



舞楽曼茶羅供装束
国指定重要文化財として、高野山に残る舞楽装束。薔薇の花と丹生都比売神社の太鼓橋が描かれており、丹生都比売神社と高野山の関係の深さをうかがい知ることができる。



舞楽曼茶羅供
曼茶羅供とは、結縁灌頂と共に真言密教における重要な儀礼のひとつ。そして舞楽曼茶羅供とは、舞楽を伴った曼茶羅供であり、僧侶による声明と雅楽がハーモニーを奏でる神に国の安泰を祈る法要である。今年9月、国立劇場において200年ぶりに再現、上演され、場内は幻想的な雰囲気包まれた。

高野山開創1200年に向けて



本殿4殿は国指定重要文化財に指定。神社建築様式の一つである一間社春日造では日本最大の規模を誇る。現在、「平成のご造営」が行われており、高野山開創1200年を迎える前年の2014年11月には完成し、盛大な正遷宮祭りが実施される予定。



丹生都比売神社(にうつひめじんじや)
創建は約1700年前と伝えられ、日本書紀にその記述を見ることが出来る。主祭神は「丹生都比売大神(にうつひめおおかみ)」で天照大神の妹神といわれている。(上/境内に奉納されているお札 下/丹生都比売神社宮司、丹生晃市さん)

住所 / 伊都郡かつらぎ町上天野 230
電話 / 0736-26-0102
<http://www.niutsuhime.or.jp/>

空海はとも神様を大切にした。高野山麓・天野の里にある丹生都比売神社は空海と深い関わりを持つ。
1200年前、空海は天野の山中で狩野明神と出会い、その導きで丹生都比売大神より高野山を借り受けた。その後空海は、高野山開創に先立ち壇上伽藍に丹生都比売大神を祀る御社を建立した。それは空海の「共生」という考

え方そのものであり、日本人にとつてなじみ深い神仏習合でもあった。現在も空海その教えは引き継がれ、毎日の読経においても「南無大師遍照金剛」と弘法大師を称えるときに、丹生都比売を称え「南無大明神」と併せて唱えられる。また僧侶たちは四度加行を終えらると、お礼参りとして今でも丹生都比売神社にお札を納めている。

空海が愛した
神様の里「天野」



密教で重要な四つの修法を四度加行という。お札の札は丹生都比売神社だけでなく、御社や奥の院などにも奉納される。